

---

## 「非虚血心筋症におけるRAS阻害薬の投与量と心腎連関症候群との関係」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの医療情報を用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、埼玉医科大学国際医療センターIRBの承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2013年1月1日～2022年12月31日の期間にて、当院の心臓内科/不整脈科に入院し、非虚血性心筋症(狭心症や心筋梗塞などがない心筋障害)の診断を受けた患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

心臓治療薬(RAS阻害薬:レニン-アンジオテンシン-システム阻害薬)は、非虚血心筋症の予後を改善する重要な薬ですが、腎機能障害を来すことから、特に心腎連関症候群(心疾患と腎疾患を合併する症候群)の患者さんでは、十分に投与されない傾向にあります。そこで、心腎連関症候群を伴う非虚血心筋症の患者さんにおいてRAS阻害薬の投与量によって治療成績に差があるかどうかを調査します。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2025年12月31日

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

当院で施行された検査データ(採血、心電図、レントゲン、心エコーなど)および病歴情報(原疾患、既往歴、併存症、合併症、服薬内容など)を調査します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である池田礼史が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

当該研究の対象となった患者さんにおいて、検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

#### 3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

- ・埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/不整脈科 池田 礼史(研究責任者)
- ・埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/不整脈科 加藤 律史

- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/不整脈科 筒井 健太
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/不整脈科 森 仁
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/不整脈科 松本 和久
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/不整脈科 成田 昌隆
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/不整脈科 佐々木 歩
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/不整脈科 田中 尚道
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/不整脈科 工藤 大輔
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/不整脈科 松本 万夫

#### 4. 試料・情報の管理責任者

- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/不整脈科 池田 礼史（研究責任者）

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/不整脈科 池田 礼史（研究代表者）

住所：〒358-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：

非虚血心筋症における RAS（レニンアンギオテンシンシステム）阻害薬の投与量と心腎関連症候群との関係

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科/不整脈科 池田 礼史